

誰もが幸せを実感できる 福祉と安心のまち あらかわ

区では、誰もが生涯住み続けられる地域社会の実現を目指しています。今号では、障がいの理解と区が取り組んでいる事業を紹介します。
*相談・問合せは、特に指定があるものの他は、区役所1階障害者福祉課(☎内線2685・FAX(3802)0819)へ

相談窓口・相談員制度

生活全般の相談

●障害者福祉課

日常生活への支援、施設入所や通所等の相談を受け付けています。また、心の健康に不安がある方の精神保健福祉相談(自立と社会参加促進のための支援を保健師や専門医が対応)の他、難病医療費助成及び自立支援医療(精神通院医療)の申請も受け付けています。

▼手話通訳者

毎週火曜日(午後2時~4時に)、手話通訳者が窓口で対応します。

▼身体・知的障害者相談員

区から委嘱を受けた相談員が、障がい者や家族から生活相談等に対し、必要な助言と地域支援を行っています。

●民生委員・児童委員

障がい者や家族からの相談を受

けて、助言や支援、関係機関への橋渡しなど地域生活を支える支援活動を行っています。
●支援センターアゼリア
☎(3819)3113
FAX(3819)2312

お子さんの発達に不安がある時の相談

心の病を持ちながら生活している方の日常生活の支援や相談等を行い、社会復帰のためのさまざまなプログラムを実施しています。

●児童発達支援事業

未就学児とその家族に対して療育支援を行っています。

●学齢児機能訓練

特別支援学校に通学している学齢児を対象に放課後、理学療法訓練を実施しています。

●就学に関する相談

特別な支援を必要とするお子さんの教育の場として、特別支援学校や都立特別支援学校があります。

擁護の制度です。判断能力が不十分でも安心して暮らせるよう、法律や生活面に配慮しながら支援する、成年後見人等を定めます。成年後見人には弁護士・司法書士等の専門家が選任されています。本人の状況に合わせた適切な支援のために、家族が元気づけよう。成年後見制度を利用しましょう。

成年後見人の紹介

近藤 徹さん

近藤さんは、家庭裁判所の決定による、知的障がい者の成年後見人です。

障がい者の親が亡くなった後に、親に代わって福祉サービスの契約、身上の世話、財産の管理などを行っています。また、障がい者のお宅へ随時訪問し、話を聞いたり、時間をかけて後見人の役割を説明したりしています。



障がい者の家族が高齢・病気になる時、亡くなった後などに本人の生活を支えていくための権利

成年後見制度を利用しましょう。

成人の機能回復に関する相談

●高次脳機能障がい者訓練等

病気やけがなどで障がいを受けた方に、その障がいの改善等を目的にグループワークでの機能訓練を行っています。

●就労に関する相談

障がい者の就労支援や生活支援のコーディネーターが相談を受け付け、就労を支援します。また、就職した方が継続して仕事ができるように、定期的に事業者を訪問して職場定着指導をしています。

●虐待に関する相談

障がい者の虐待は、密室性が高く、表面化しにくい特徴があります。障がい者が安心して生活を送れるように、地域で障がい者を見守りましょう。虐待を発見した場合は、通報・相談して下さい。

●その他の相談

▼障害基礎年金：国保年金課 ☎内線2413
▼特別児童扶養手当：子育て支援課 ☎内線3816
▼就学奨励費：学務課 ☎内線3338
▼介護保険制度：介護保険課 ☎内線2431

12月3日~9日は障害者週間

障がい者がさまざまな分野の活動に参加する意欲を高め、皆さんに障がい者の福祉への関心と理解を深めるための期間です。

アクロス・連合会まつり

日時 12月6日(土) 午前10時20分~午後3時

内容 バザー、手作り品販売、模擬店、ミニ手話講座、アイマスクを使った視覚障がい者の疑似体験・ガイドヘルプ体験、チャレンジ・スタンプリ、大ピ

パネル展示(無料)

日時 12月3日(水)~9日(火) 午前9時~午後10時

内容 障害者福祉推進団体の活動紹介・手作り作品などの展示

きもちトーク2014(無料)

日時 12月7日(日) 午後1時30分~4時

内容 アクロスあらかわを見学した小学生の学習発表会、障がい者や関係者の体験発表会

※手話通訳・要約筆記あり
会場・問合せ アクロスあらかわ ☎(3803)6221

FAX(3803)6222

障がい者要援護者登録申請を受け付けています

大規模災害時や緊急時に、迅速な安否確認、避難誘導や救命活動を支援するために、障がい者の名簿登録申請を受け付けています。登録申請された方には、災害時個別避難計画を作成し、災害時に備えています。

障がい者を支援します

盲ろう者への支援

視覚と聴覚障がい重複し、コミュニケーションを取ることが難しい盲ろう者に対し、地域で安定

留守番看護師を派遣

在宅での円滑な地域生活や介護者の負担軽減のために、医療的ケアの必要な重度心身障害者に対して、家族に代わって医療行為が出来る留守番看護師を派遣します。

職場で頑張っています

高橋 幸子さん(荒川在住) 身体障害者手帳

高橋さんは、高等部卒業後に現在の職場の青果部門で働いています。野菜等をパックに入れ、値段シール等を貼っています。商品として売れるものを一つひとつ確認しながら、商品カゴに丁寧にに入れていました。扱う商品は毎日時間単位に変わり、配慮が必要で忙しいですが、楽しく頑張っています。



乾 光成さん(荒川在住) 精神保健手帳



乾さんは、高校卒業後、印刷会社等に勤務していましたが、体調不良等で退職し、現在の作業所スカイで働いています。現在も体調には少し不安がありますが、自己管理をして仕事を続けることで、精神的に安定出来るようになりました。今の生活を長く続けていきたいと張り切っています。

主浜 正巳さん(南千住在住) 愛の手帳

主浜さんは、高齢者施設のおたけの郷で清掃の仕事をしています。就労移行支援で訓練を重ね、現在に至っています。入居者から「いつもありがとう」「よく頑張っているね」などと言われることが励みになり、頑張れると話していました。夢は、お母さんを安心させることだそうです。

